

今般の台風第21号では一定の防災行動がとられていたものの、大阪湾内の港湾や沿岸部において、高潮・高波・暴風による浸水等により、コンテナの漂流やクレーン等の電気設備が損傷し、コンテナターミナルの利用が困難となる等、被害発生し、港湾物流が一時的に停滞した。以下、今後の高潮対策の検討に向けた視点を示す。

緊急対策

緊急対策以降

- コンテナ固縛強化(ラッシングベルト二重化、固縛用アンカーの設置等)
- コンテナの段落ち(4,5段→3段 等)、地盤の高い箇所への移動
- 荷役機械の避難箇所(地盤の高い箇所)の設定
- 電源設備周りへの土嚢設置(浸水防止)
→フェーズ別高潮対応計画の充実

- 港湾BCPの高潮災害への拡張
 - 高潮ハザードマップの整備
 - 共同対処行動等の充実
→フェーズ別高潮対応計画に追加

- 施設点検項目・頻度の充実
 - 潮位・波浪の観測網、監視カメラの充実
→災害情報のモニタリング及び高潮予測等への支援
 - ナローマルチソナー等の利活用促進

- 漂流物防止柵
- 電源設備・荷役機械の耐水機能改善
- 電源設備のバックアップ
- 工事中の対策
 - コンテナターミナル等の排水機能強化
 - 電源設備のかさ上げ
 - コンテナターミナル等の地盤のかさ上げ
 - 防潮堤の嵩上げ等、海岸保全施設の機能強化

ソフト

ハード

緊急対策

緊急対策以降